



## *Ubiquitous Solution Company*



第23期 上半期報告書  
(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)





代表取締役社長兼会長  
小野寺 正

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。

第23期上半期(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)の事業内容等をご報告するにあたりまして、一言ごあいさつ申し上げます。

当上半期の連結損益状況につきましては、移動通信事業は引き続き好調であり、新サービス拡販途上にある固定通信事業の営業損失を吸収し、営業収益は1,604,834百万円(前年同期比9.3%増)、営業利益は229,461百万円(前年同期比37.7%増)と増収・増益となりました。

また、経常利益は227,281百万円(前年同期比37.8%増)、中間純利益は136,031百万円(前年同期比34.1%増)となりました。

これにより、中間配当金につきましては、前年同期より1,000円増配の1株当たり4,500円とさせていただきます。

さて、電気通信業界におきましては、携帯電話市場において、本年10月24日より、携帯電話番号ポータビリティ(Mobile Number Portability=MNP)がスタートするなど、お客様獲得に向けた熾烈な競争が続き、今後も事業環境は厳しいものとなります。

当社としては、MNP導入を絶好の機会と捉え、高品質なネット

ワークインフラをベースとし、お客様のご要望を先取りした端末、コンテンツ、料金をあわせた総合力でシェア拡大を目指してまいります。

また、固定通信市場においても、KDDIメタルプラスなどを中心とした直取型サービスの一層の拡販ならびに、東京電力株式会社とのFTTH事業における統合サービス「ひかりone」の円滑な立ち上げに着実に取り組むとともに、CATV会社との連携を進め、顧客基盤のさらなる拡大を目指してまいります。

なお、昨年10月の通信事業における包括提携に基づき、当社と東京電力株式会社は、東京電力株式会社の光ネットワーク・カンパニーに係る事業を当社に統合することについて本年10月12日に合意いたしました。

本合意により、両社は、通信事業に係る経営資源を統合し、より強固な通信事業グループの実現を目指すとともに、社会にとって必要不可欠な通信と電気を融合した幅広いお客様ニーズに対して利便性の高い情報通信サービスの提供を目指してまいります。

今後も、KDDIグループといたしましては、「戦略とスピード」をキーワードとし、急速な環境変化に迅速かつ的確に対応するとともに、「お客様重視」の姿勢を徹底し、企業価値の最大化を図るべく全社一丸となって邁進してまいります。

なお、本年6月に判明いたしました当社が提供するインターネット接続サービス「DION」の平成15年12月時点におけるお客様情報の一部外部流出につきましては、通信事業者として起こしてはならないことであり、お客様をはじめ、関係各位に対し多大なご迷惑、ご心配をおかけいたしましたことを、深くお詫び申し上げます。

当社はこの事態を真摯に受けとめ、再発防止策として全社的な情報セキュリティの再点検を実施し、お客様の信頼回復に全社一丸となって取り組んでおります。

当社は、数多くのお客様情報をお預かりする通信事業者として、通信の秘密および個人情報・顧客情報の保護を経営の最重要課題として改めて認識し対処してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。